

# 2010年12月期 決算説明会



**ヤマハ発動機株式会社**  
**2011年2月15日**

## 本日ご説明する内容

### 1. 2010年12月期 決算概要 2012年中期経営計画 進捗

代表取締役社長 柳 弘之

### 2. 2010年12月期 決算 2011年12月期 業績予想 2012年12月期 数値目標

取締役 篠崎 幸造

#### ●業績見通しについて

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動などが含まれます。

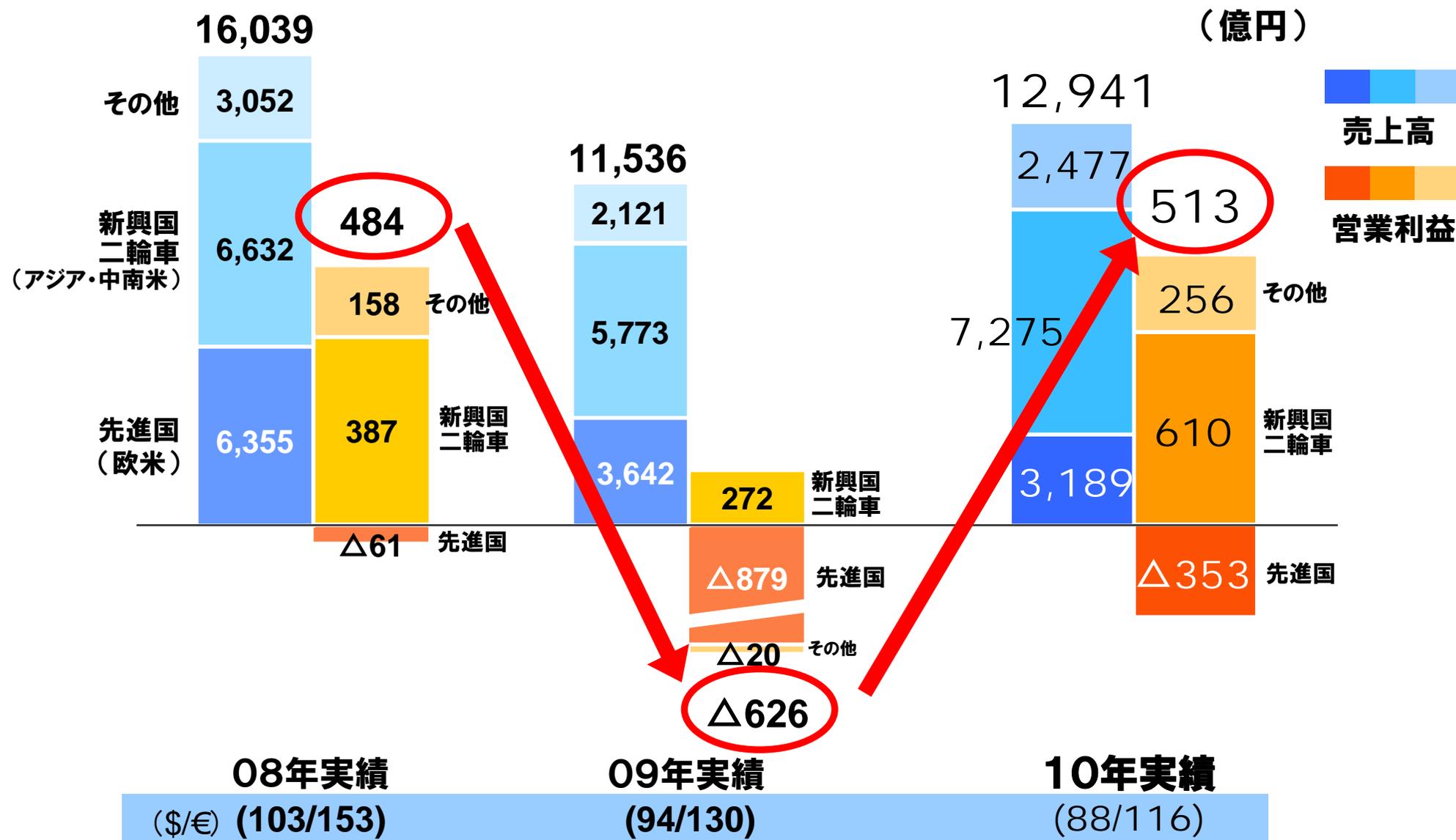
**2010年12月期 決算概要**  
**2012年中期経営計画 進捗**

**代表取締役社長 柳 弘之**

## 先進国構造改革効果、新興国二輪車販売伸張、船外機・IM復調

<b>新興国市場</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>販売数量拡大：二輪車 534万台（前期）⇒ 656万台</li> <li>生産能力増強：インドネシア 360万台・ベトナム 100万台</li> </ul>
<b>先進国市場</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>二輪車小売販売 前期比 <math>\Delta 20\%</math>（想定 <math>\Delta 10\%</math>） 米国在庫圧縮 90千台（前期末）⇒ 49千台</li> <li>船外機競争力強化：新商品投入（4モデル）、ボルボ・ペンタ社提携</li> </ul>
<b>構造改革</b>	国内生産体制	12工場・25ユニット ⇒ 11・21（最終目標 7・14）
	組織改革	本社希望退職 932名、欧米合理化 350名
	コストダウン	目標 600億円（2012年）・進捗90%
	事業整理	浄水器事業（日本）・ライフサイエンス事業撤退
<b>成長戦略</b>	低価格二輪車	中国市場へ商品投入開始
	アセアン二輪車	FI 現地生産体制確立
	環境対応エンジン	開発進捗中
	スマートパワー	EV事業再開・EC-03投入
<b>財務基盤強化</b>		在庫圧縮、利益黒字化、公募増資による改善

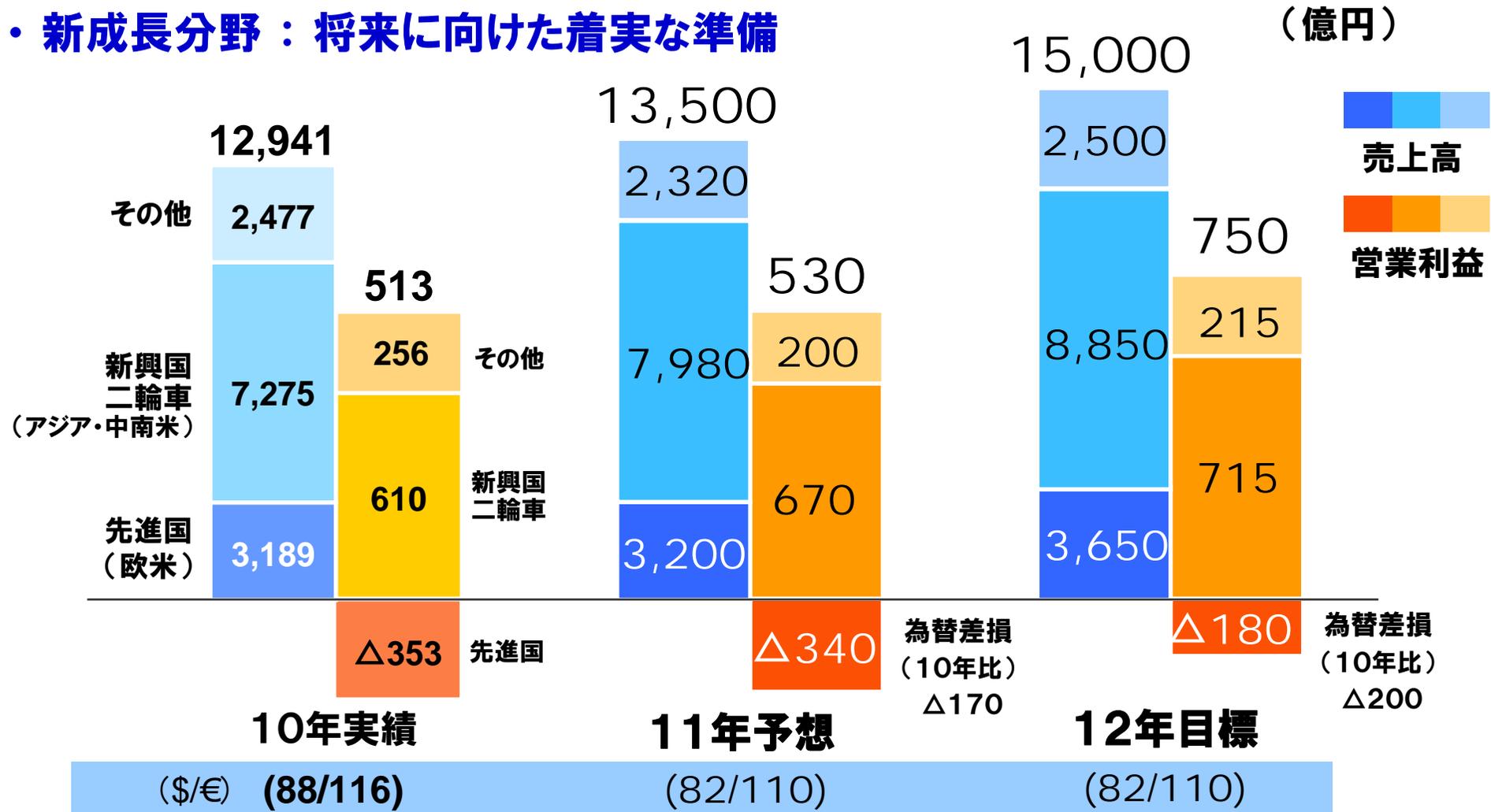
## 営業利益黒字化達成（前期比 +1,139億円）



※ 先進国事業：日米欧向二輪車・ATV(四輪バギー)・船外機・ウォータービークル・スノーモビル事業、その他：先進国、新興国二輪車以外の事業

## 2012年 連結営業利益率 5%

- ・ 先進国市場：為替前提（\$88/€116円）で黒字化見込み
- ・ 新興国市場：売上規模拡大・収益性維持、多商品展開
- ・ 新成長分野：将来に向けた着実な準備



※ 先進国事業：日米欧向二輪車・ATV(四輪バギー)・船外機・ウォータースポーツ・スノーモビル事業、その他：先進国、新興国二輪車以外の事業

## 構造改革・基盤変革（円高対応）を続け、成長へ軸足移す

2010	2011	2012	.....201X
<b>連結営業利益</b> <b>黒字化</b>	(復配の目処)	<b>連結営業利益率</b> <b>5%</b>	
<div style="background-color: blue; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">                         将来成長シナリオ実現                     </div>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先進国市場：需要回復へ向けた準備</li> <li>・ 新興国市場：二輪車＋マリン＋特機等</li> <li>・ 新成長分野：マーケティング・パーソナルモビリティ・新技術</li> </ul>		
<div style="background-color: orange; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">                         経営基盤変革（\$80/€105円の収益体質づくり）                     </div>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 円高対応：短期・中期・長期的施策</li> </ul>		
<div style="background-color: blue; color: white; padding: 10px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">                         構造改革・収益体質確立                          （\$88/€128円 ⇒ \$88/€116円）                     </div>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内生産体制改革：本社＋グループ会社再編成</li> <li>・ コストダウン目標追加：600億円 ⇒ 750億円（12年）</li> </ul>		

## \$ 80 / € 105 円で採算がとれる収益体質への変革

短期

事業コスト低減  
(経費・生産性)

中期

生産数量確保 (損益分岐点台数 +  $\alpha$ )  
二輪車 20万台 +、船外機 23万台 +、ATV・SSV 10万台

長期

本社機能の高付加価値化

- 開発 先進技術開発に特化、製品開発の現地化加速 (開発・生産技術・調達)
- 生産 全商品最適生産体制 (マルチスキル化)、多品種少量生産の更なる進化
- 間接 業務集約・合理化の更なる推進

事業	総需要（万台）	市場動向	課題
二輪車	<p style="text-align: center;"><b>底堅い潜在需要、景気回復による需要改善を見込む</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>底堅い潜在需要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレジット販売の改善</li> <li>・中古車需要は安定</li> <li>・レース観戦者数横ばい</li> </ul> </li> <li>➤ <b>高い失業率、購買意欲低調</b> (10年12月 9.4%) <small>(米労働省労働統計局 Bureau of Labor Statistics)</small></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 商品競争力強化</li> <li>② 販売網政策推進 (プロヤマハ政策)</li> <li>③ 周辺ビジネス取込み</li> </ul>
船外機	<p style="text-align: center;"><b>市場安定、商品政策・販路政策を継続</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ <b>マリンレジャー安定推移</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレジャーボート利用者数横這い</li> <li>・フィッシングライセンス購入者数増加</li> </ul> </li> <li>➤ <b>過剰在庫解消（業界）</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 商品競争力強化 (軽量・コンパクト・低燃費、環境規制対応)</li> <li>② ボートビルダーとの連携強化</li> </ul>

\* 総需要は当社推定値

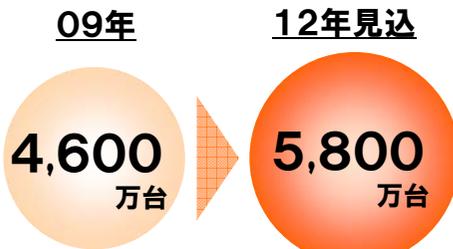
事業

二輪車

## 拡大する市場へ積極的投資継続



総需要



\* アジア（除：日本）、中南米、アフリカ他

ヤマハ出荷台数



課題

- ① 生産能力増強  
・インドネシア 400万台
- ② 低価格モデル投入
- ③ アセアンFI化
- ④ 中南米市場拡販
- ⑤ アフリカ市場開拓

マリン・発電機

総需要



\* ロシア、アジア（除：日本）、中南米、アフリカ他

## 将来の有望市場へ多商品展開



課題

マリン

- ① 船外機：ボートビルダー戦略推進
- ② ボート：開発・製造の世界展開

発電機

- ① コスト競争力の強化  
（中国生産体制再編）
- ② グローバル販売体制の強化

## モノ創りで輝き・存在感を発揮し続ける企業



## 連結売上高 2兆円へ

新興国市場での事業規模拡大（二輪車・マリン・特機等）を  
ドライバーとして、新成長分野を着実に伸ばす

(億円)

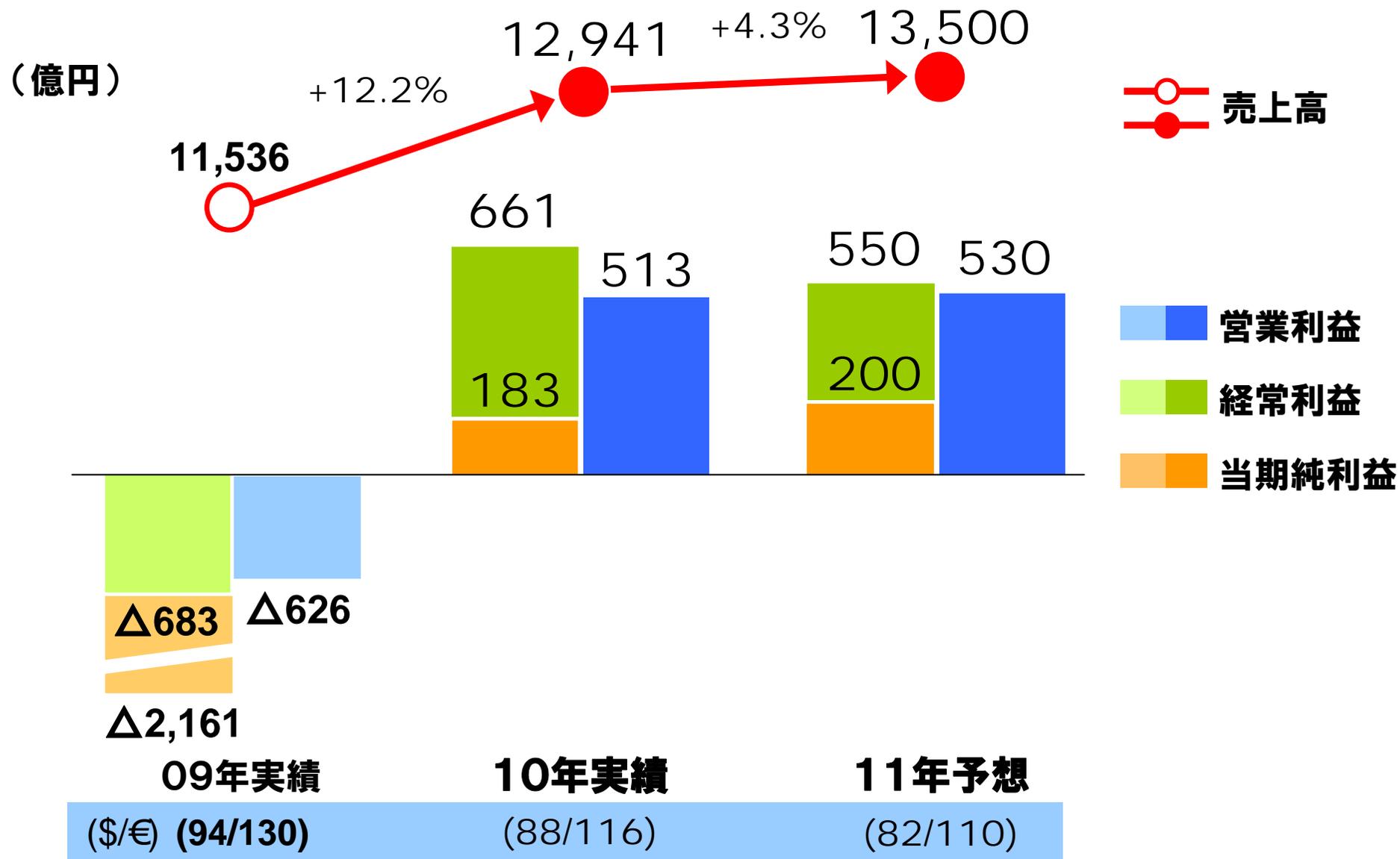


**2010年12月期 決算**  
**2011年12月期 業績予想**  
**2012年12月期 数値目標**

**取締役**

**篠崎 幸造**

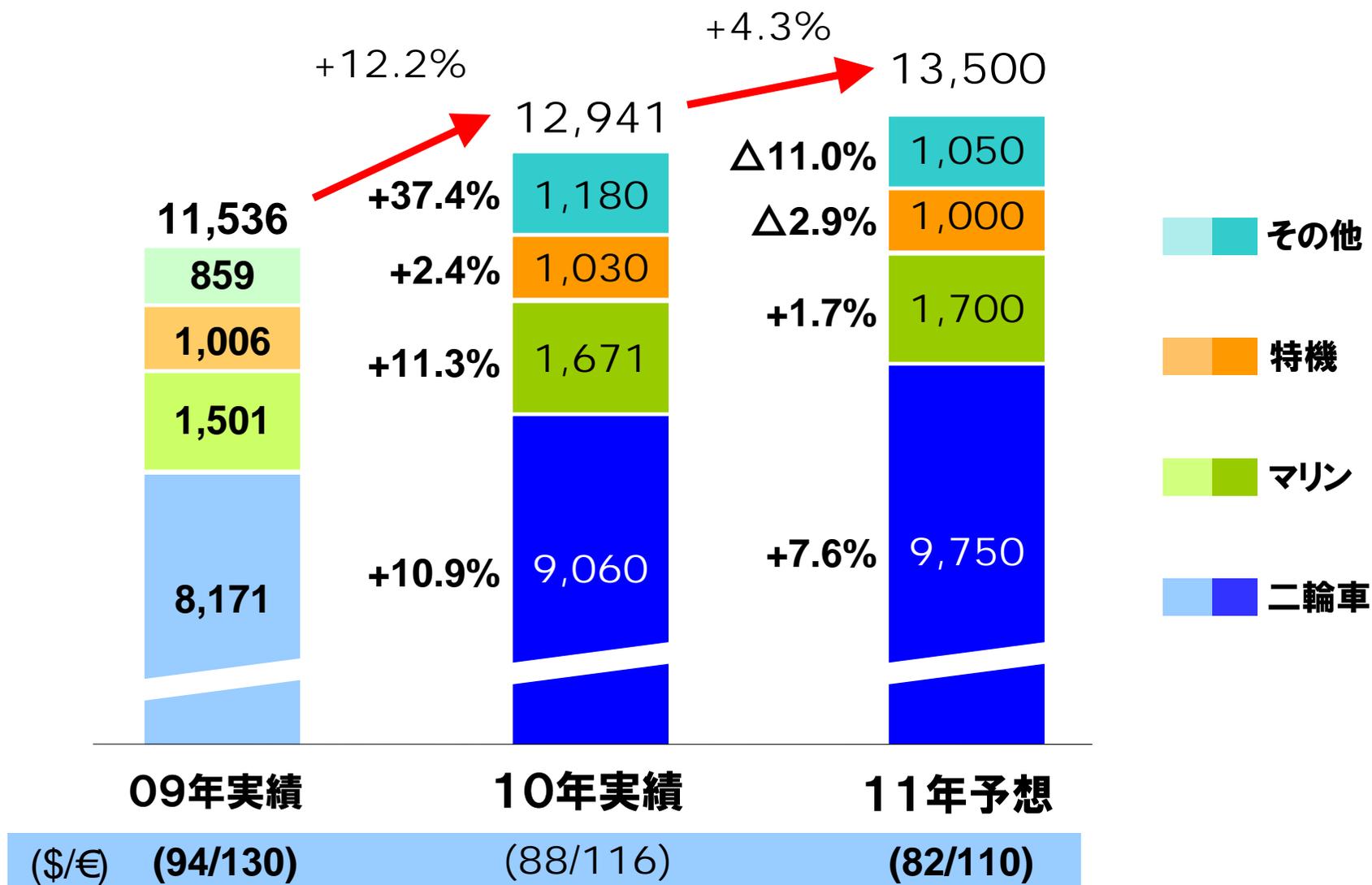
# 売上高・利益【2010年実績・11年予想】



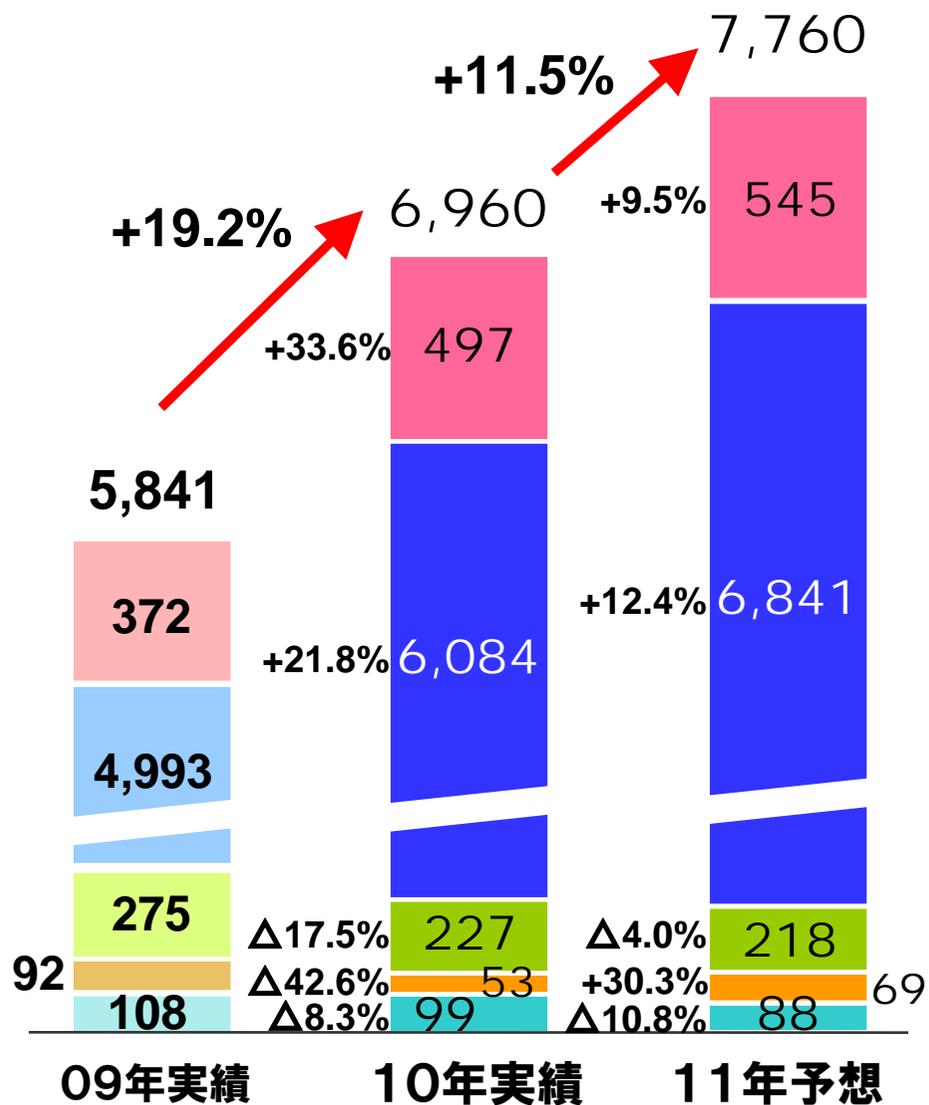
# 事業セグメント別売上高【2010年実績・11年予想】



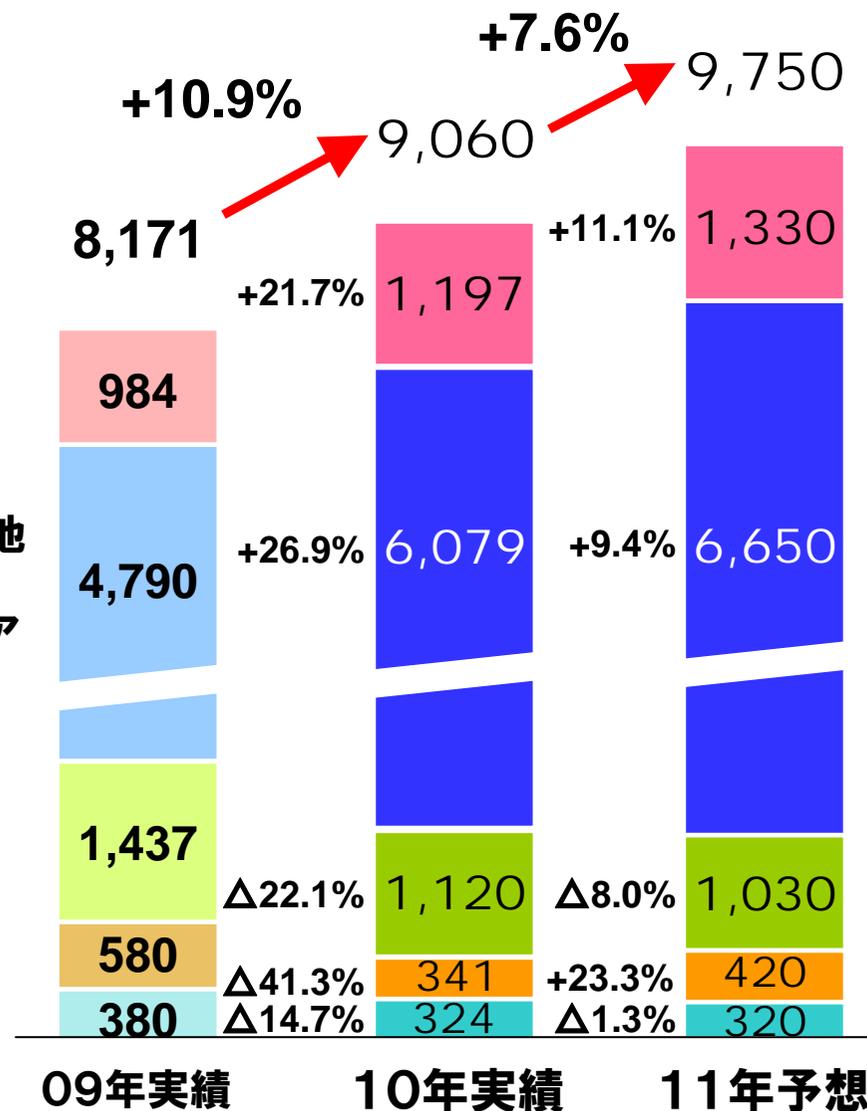
(億円)



## 販売台数 (千台)



## 売上高 (億円)



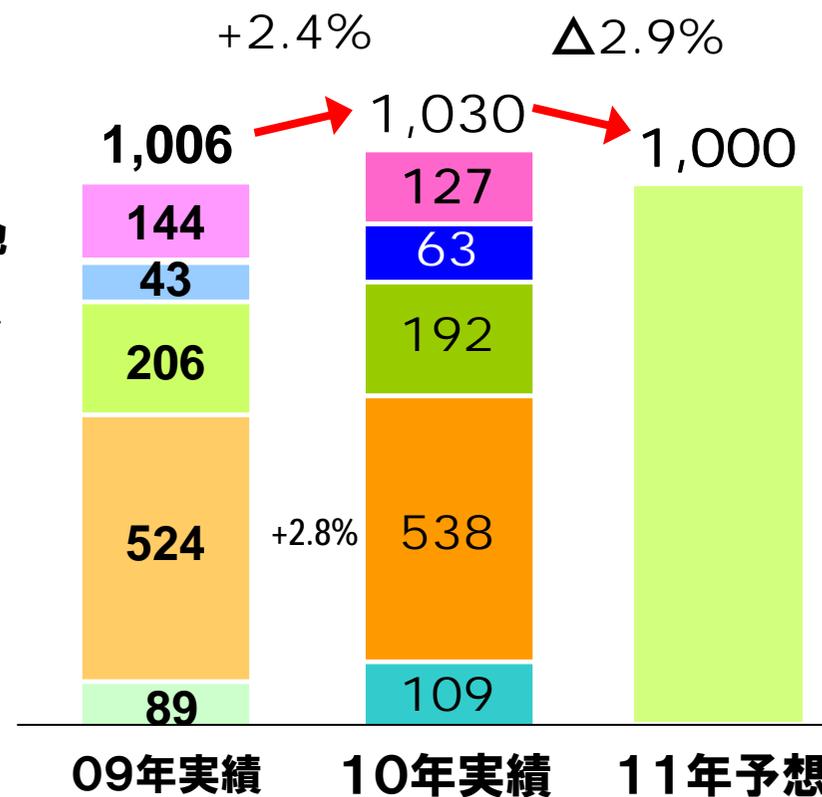
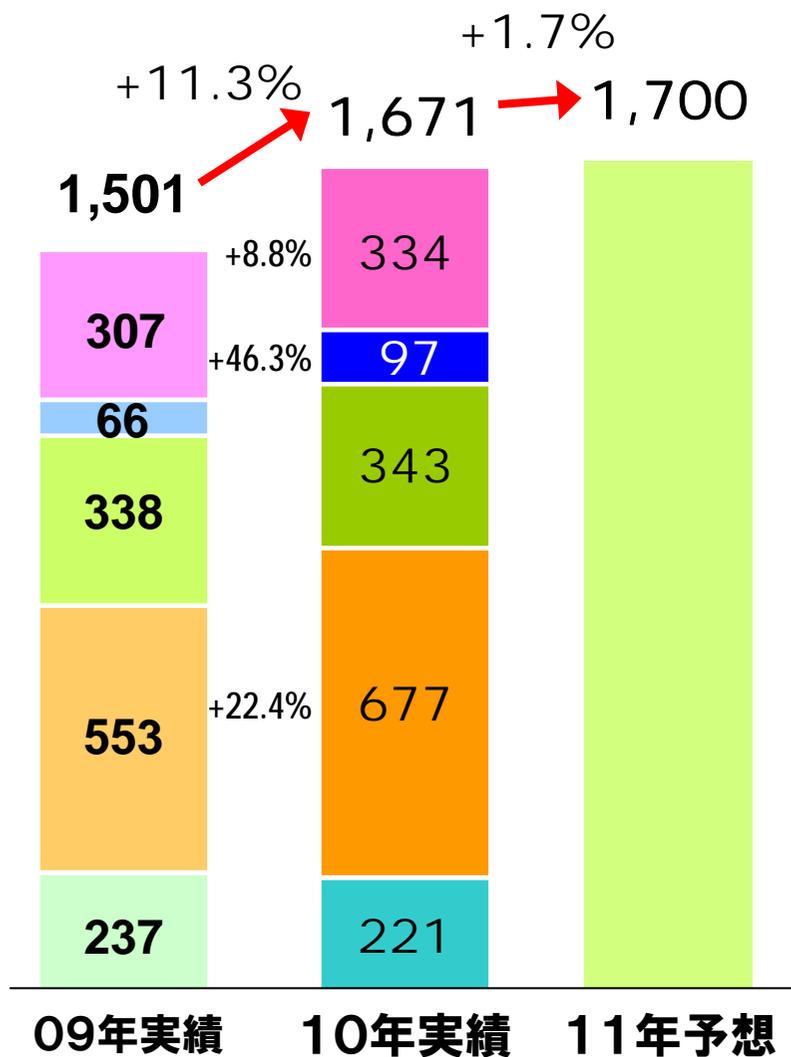
# 売上高 <マリン・特機>【2010年実績・11年予想】



## マリン

## 特機

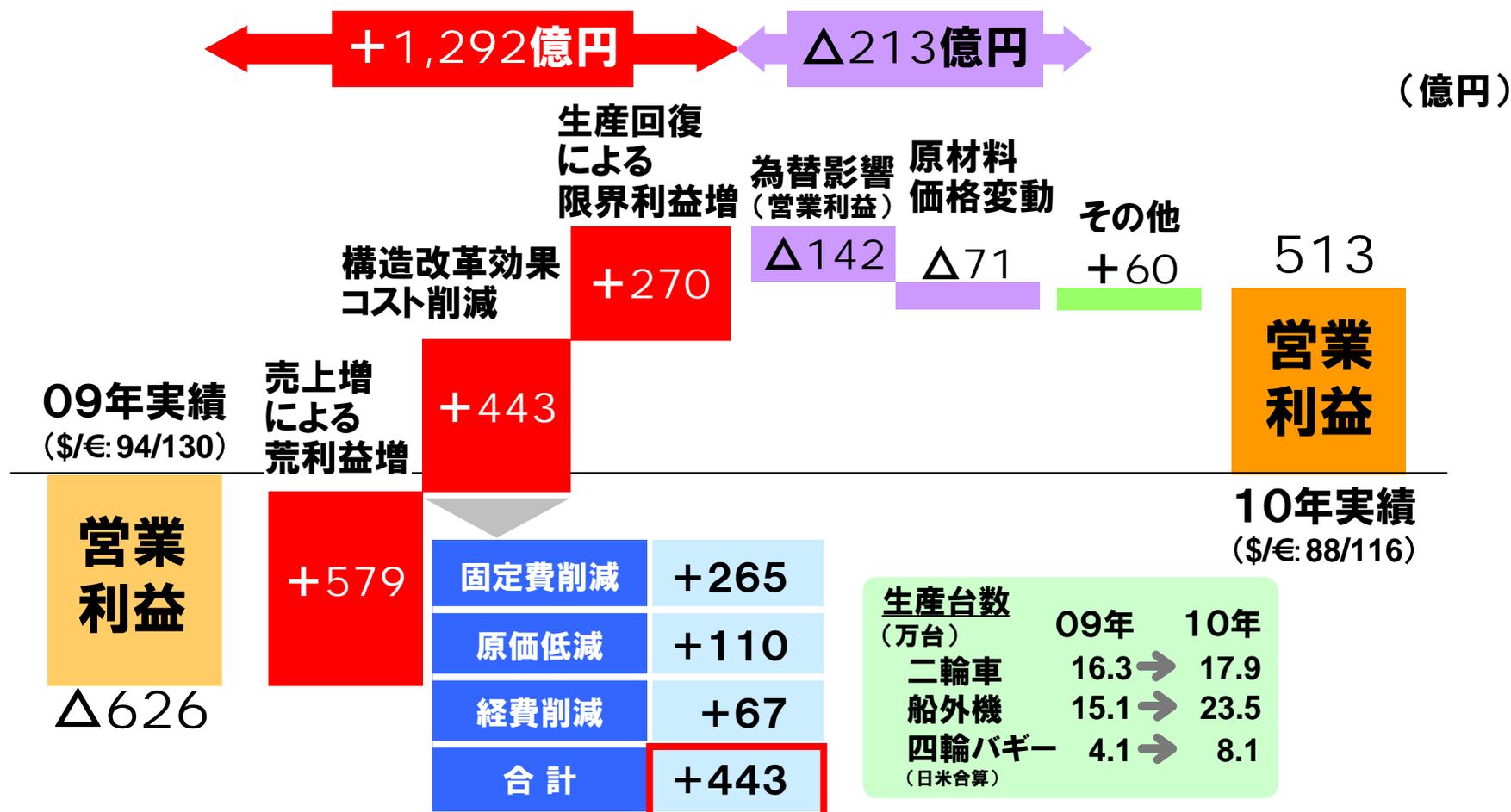
(億円)



# 営業利益変化要因（対前年）【2010年実績】



**新興国二輪車・船外機・IM販売増による改善** +579億円  
**構造改革効果・コスト削減による改善** +443億円  
**生産回復による限界利益改善** +270億円



# アジア・中南米主要国 販売状況【2010年実績・11年予想】

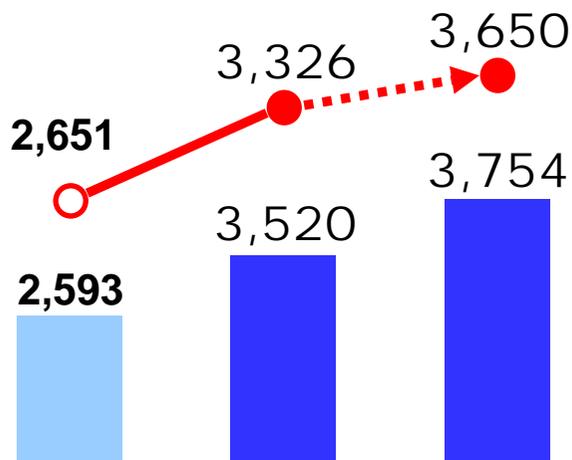


売上台数(千台) 売上高(億円)

## インドネシア (YIMM)



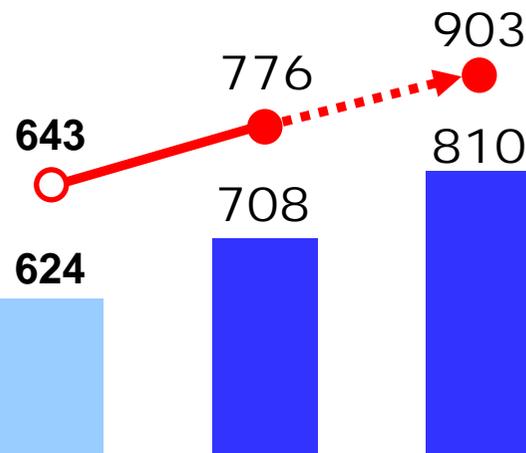
Xeon  
(10年5月発売)



## ベトナム (YMVN)



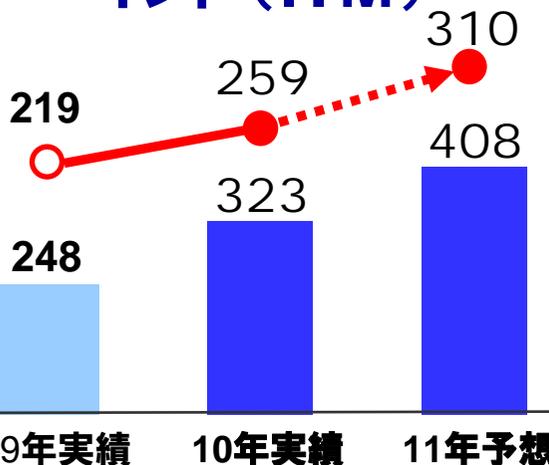
Cuxi  
(10年9月発売)



## インド (IYM)



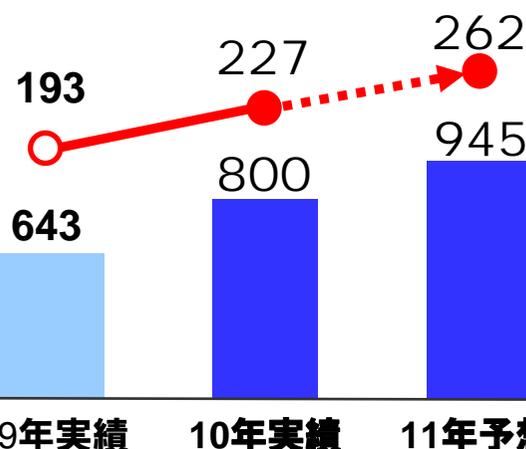
SZ  
(10年8月発売)



## ブラジル (YMDB)

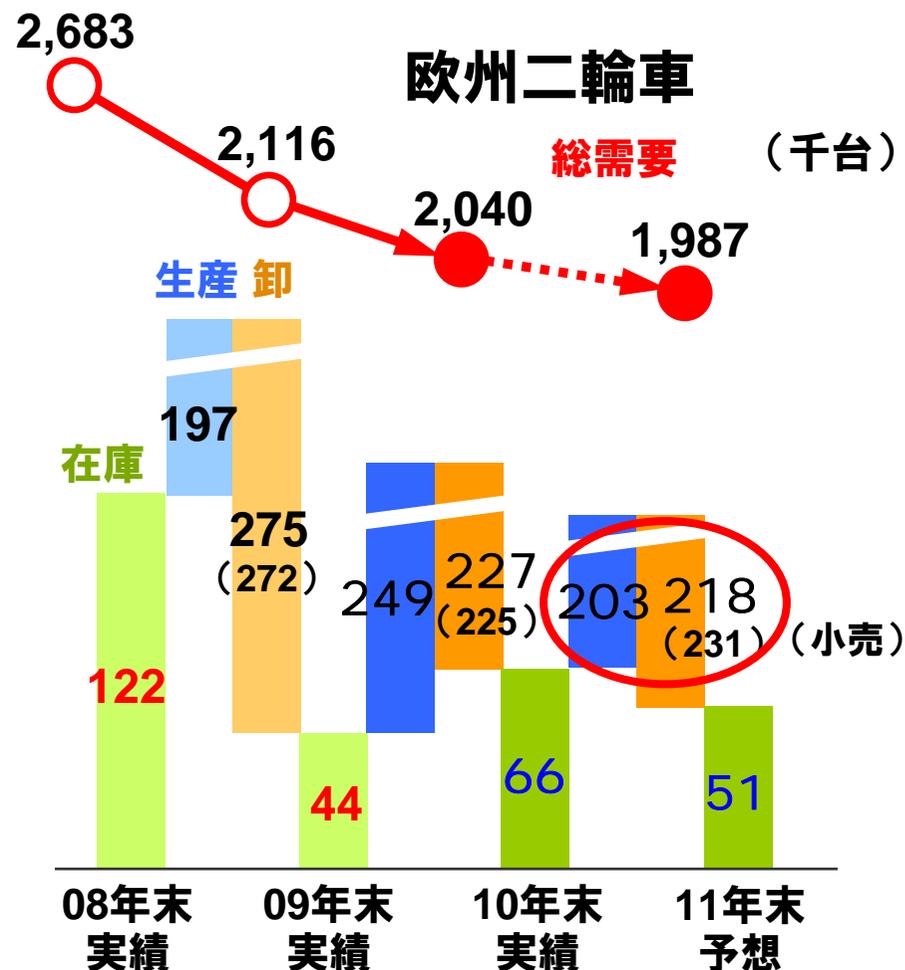
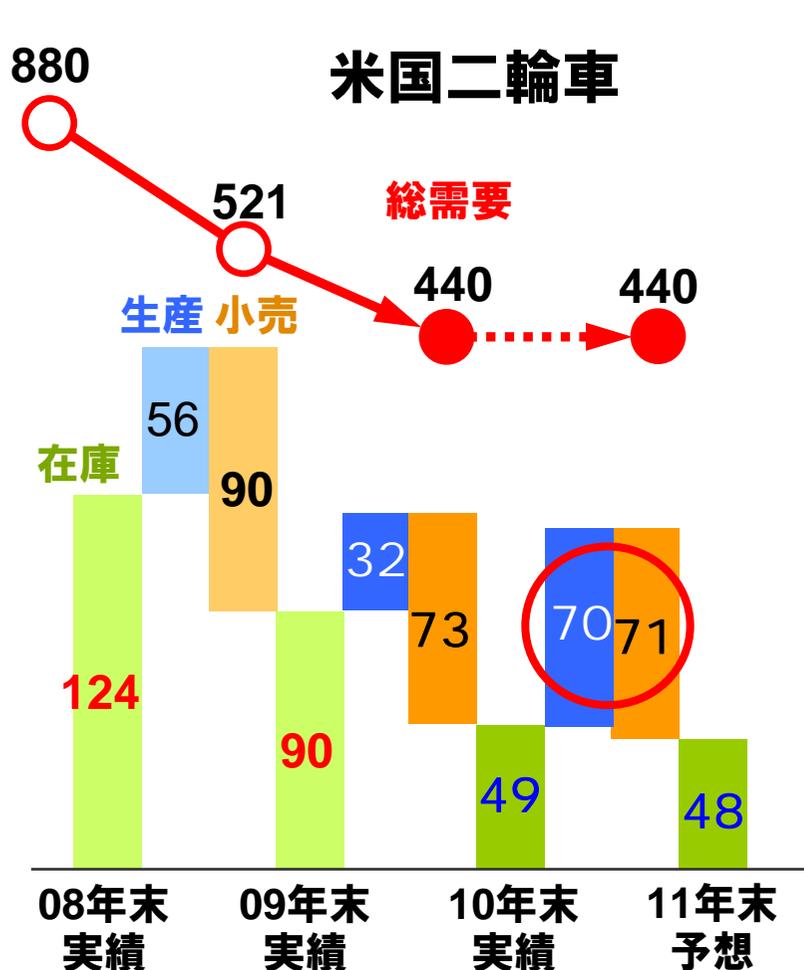


Crypton  
(10年3月発売)



注) 売上台数:国内販売台数のみ。売上高:輸出売上含む

## 米国在庫調整進み、11年出荷、小売並回復見込む 欧州在庫削減のため、11年出荷調整

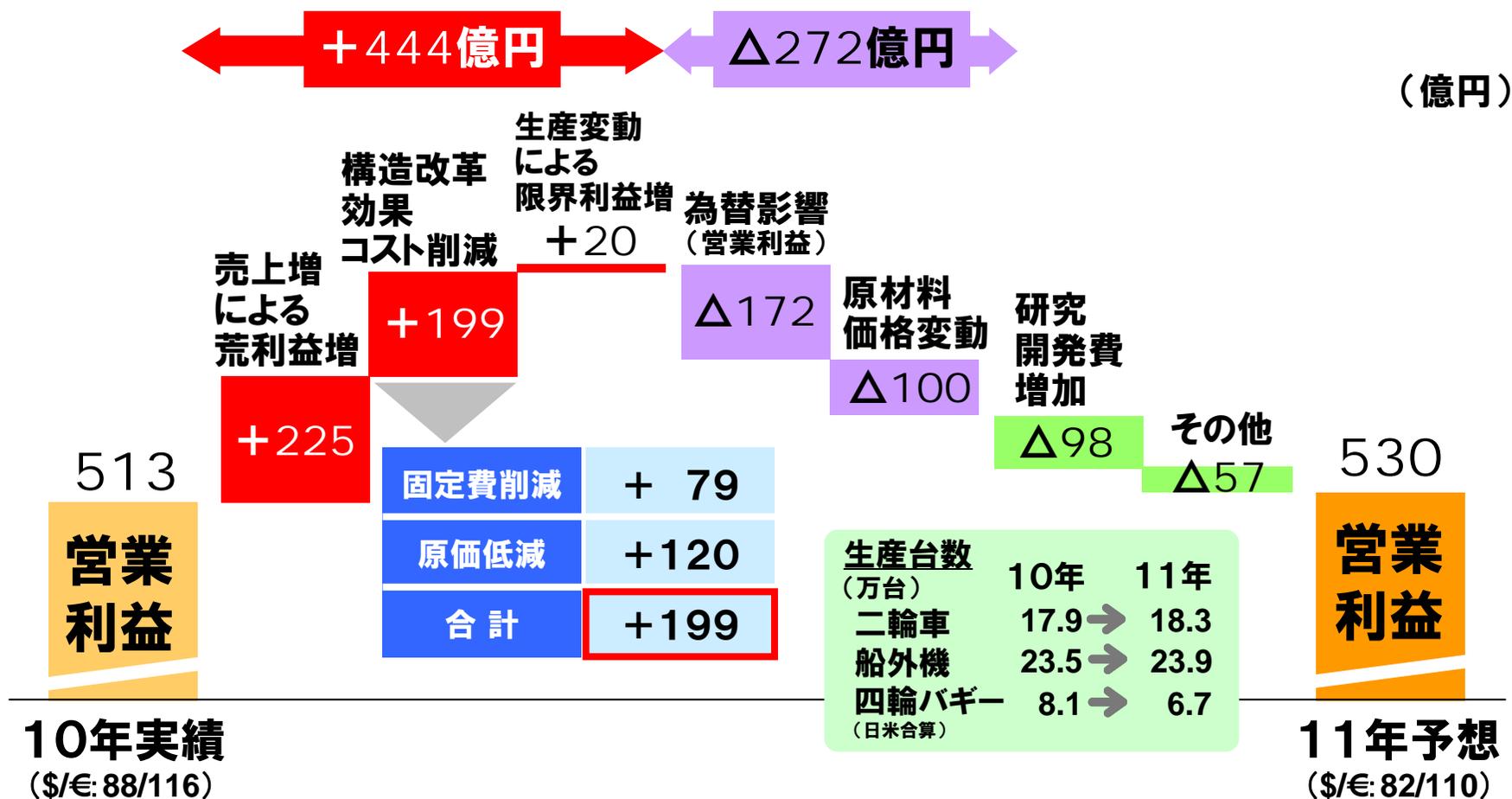


注) 米国は、卸+ディーラー在庫、欧州は、卸在庫

# 営業利益変化要因（対前年）【2011年予想】



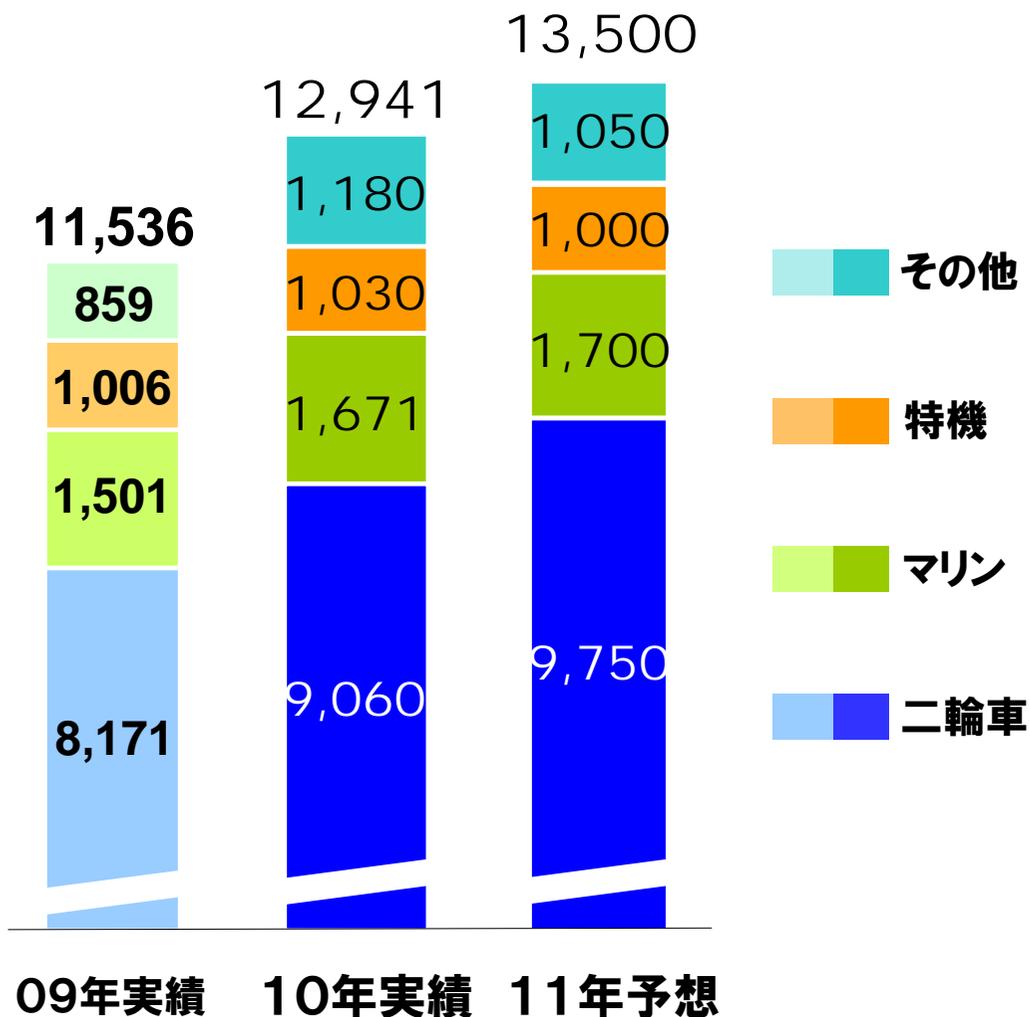
**売上増・構造改革・生産増加による改善** +444億円  
**円高・原材料価格上昇による影響** Δ272億円  
**成長戦略に係る研究開発加速** Δ98億円



# 事業別 売上高・営業利益【2010年実績・11年予想】

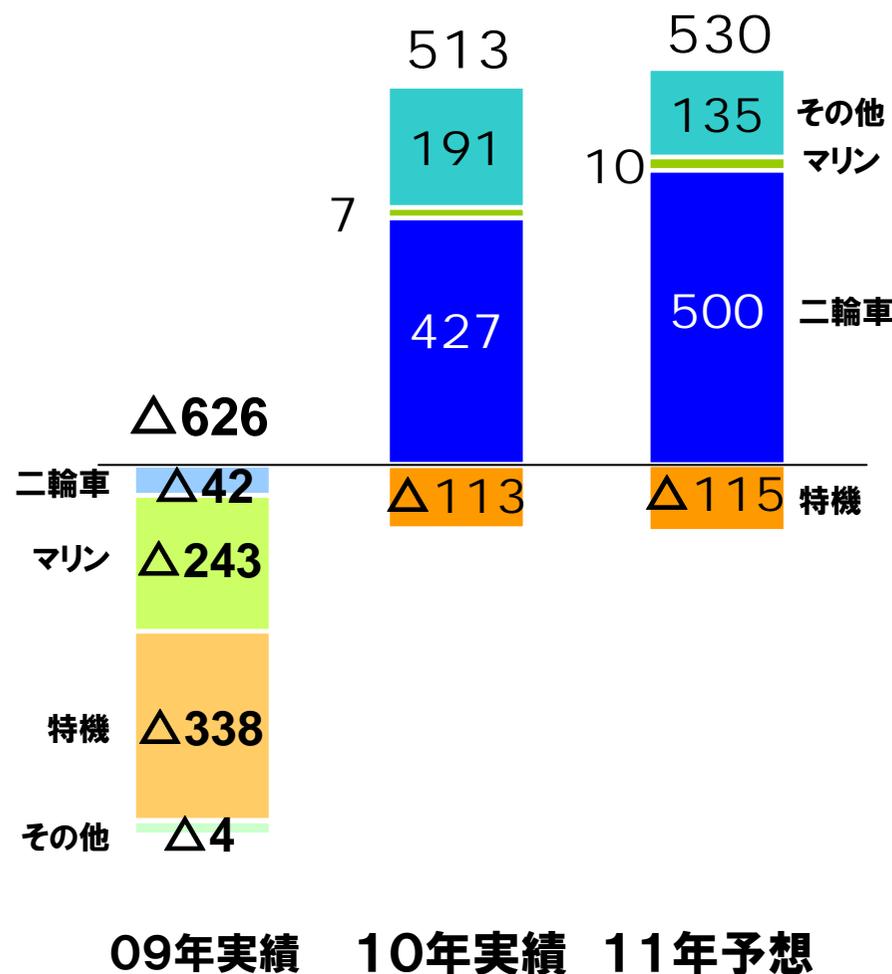


## 売上高



## 営業利益

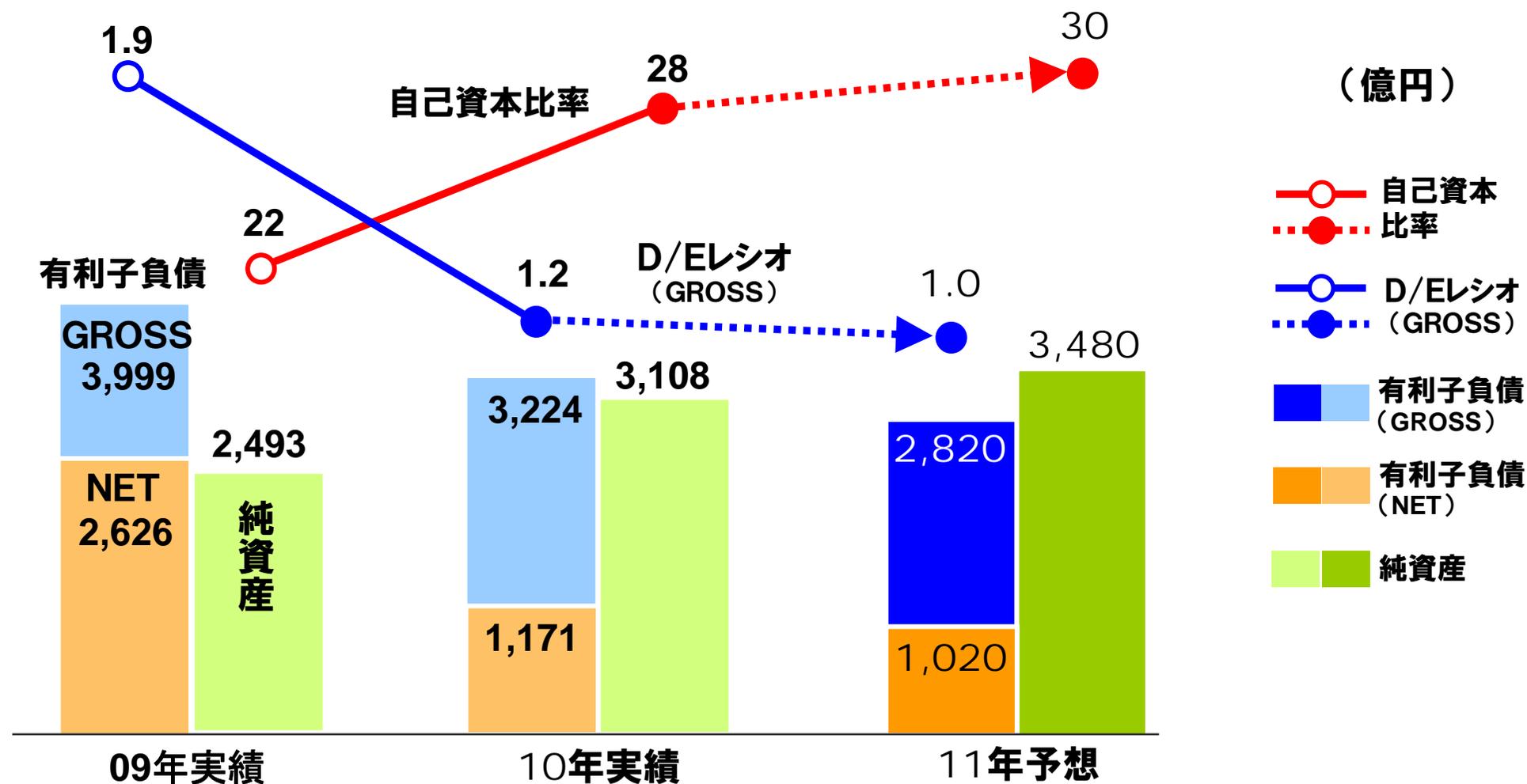
(億円)



# 有利子負債・純資産 【2010年実績・11年予想】



## 2012年末中期目標を1年前倒しでの達成を目指す



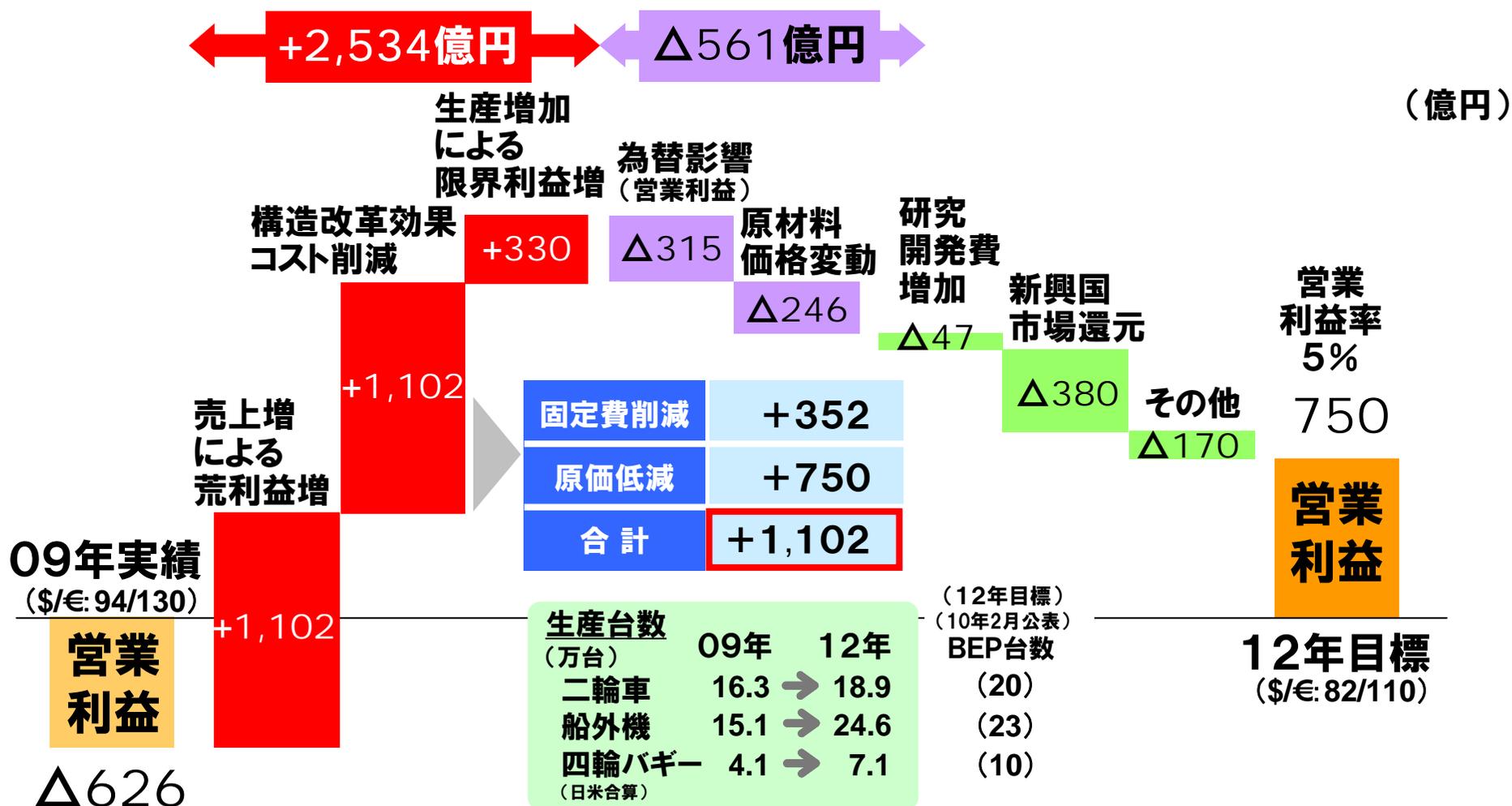
フリーCF	288	669	黒字継続
利益剰余金 (単独)	△597	△236	黒字化



# 営業利益変化要因（2012年目標）



円高定着、原材料高、先進国需要回復遅れを、  
新興国二輪車販売増、固定費・コスト削減によりカバーし、  
営業利益率 5%達成を目指す



## 構造改革・基盤変革（円高対応）を続け、成長へ軸足移す

2010	2011	2012	.....201X
<b>連結営業利益</b> <b>黒字化</b>	（復配の目処）	<b>連結営業利益率</b> <b>5%</b>	
<b>将来成長シナリオ実現</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先進国市場：需要回復へ向けた準備</li> <li>・ 新興国市場：二輪車＋マリン＋特機等</li> <li>・ 新成長分野：マーケティング・パーソナルモビリティ・新技術</li> </ul>		
<b>経営基盤変革（\$80/€105円の収益体質づくり）</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 円高対応：短期・中期・長期的施策</li> </ul>		
<b>構造改革・収益体質確立</b> （\$88/€128円 ⇒ \$88/€116円）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内生産体制改革：本社＋グループ会社再編成</li> <li>・ コストダウン目標追加：600億円 ⇒ 750億円（12年）</li> </ul>		



# 参考資料

## ■ 連結

売上高・利益【2010年 4Q(3ヶ月)・年間、11年予想】

事業別売上高・営業利益【10年 4Q(3ヶ月)・年間、11年予想】

地域別販売台数(二輪車)・地域別売上高【10年 4Q(3ヶ月)】

米国主要商品 月別総需要推移【10年 4Q(3ヶ月)・年間】

米国主要商品 小売・卸状況【10年 4Q(3ヶ月)・年間】

米国・欧州主要商品 在庫推移【10年実績】

IM売上高・売上台数【10年 4Q(3ヶ月)・年間、11年予想】

為替の影響(対前年)【10年 4Q(3ヶ月)・年間、11年予想】

営業利益変動要因【10年実績、11年予想】

設備投資・減価償却費・有利子負債

主要商品別 総需要・当社出荷台数

## ■ 単独

売上高・出荷台数明細

# 売上高・利益【2010年実績・11年予想】



(億円)

	2009年実績		2010年実績		2011年予想	
	4Q	年間	4Q	年間	上期	年間
売上高	2,951	11,536	3,067	12,941	6,700	13,500
営業利益	△176	△626	25	513	250	530
経常利益	△245	△683	46	661	260	550
当期純利益	△574	△2,161	△128	183	85	200
換算レート (\$/€)	\$90円 €133円	\$94円 €130円	\$83円 €112円	\$88円 €116円	\$82円 €110円	

# 事業別売上高・営業利益【2010年実績・11年予想】



## 売上高 (億円)

	2009年 実績	2010年(年間)				10年(4Q 3ヶ月)		2011年(年間)	
		予想 (10/11発表)	実績	2009年比	予想比	2009年	2010年	予想	2010年比
二輪車	8,171	9,050	9,060	+10.9%	+0.1%	2,092	2,176	9,750	+7.6%
マリン	1,501	1,730	1,671	+11.3	△3.4	321	336	1,700	+1.7
特機	1,006	1,050	1,030	+2.4	△1.9	290	279	1,000	△2.9
その他	859	1,170	1,180	+37.4	+0.9	248	276	1,050	△11.0
合計	11,536	13,000	12,941	+12.2	△0.5	2,951	3,067	13,500	+4.3

## 営業利益 (億円)

二輪車	△42	430	427	—	△0.6%	△9	47	500	+17.0%
マリン	△243	25	7	—	—	△84	△30	10	+33.7
特機	△338	△120	△113	—	—	△102	△41	△115	—
その他	△4	165	191	—	+15.6	19	48	135	△29.2
合計	△626	500	513	—	+2.6	△176	25	530	+3.3

## 営業利益率 (%)

二輪車	△0.5%	4.8%	4.7%	+5.2%	△0.0%	△0.4%	2.2%	5.1%	+0.4%
マリン	△16.2	1.4	0.4	+16.6	△1.0	△26.1	△8.8	0.6	+0.1
特機	△33.6	△11.4	△10.9	+22.6	+0.5	△35.1	△14.6	△11.5	△0.6
その他	△0.4	14.1	16.2	+16.6	+2.1	7.5	17.6	12.9	△3.3
合計	△5.4	3.8	4.0	+9.4	+0.1	△6.0	0.8	3.9	△0.0

## (参考)二輪車+ATV (億円)

売上高	8,628	9,520	9,513	+10.3%	△0.1%	2,219	2,286	10,210	+7.3%
営業利益	△374	300	317	—	—	△93	16	380	+20.0
営業利益率	△4.3%	3.2%	3.3%	+7.7	+0.2	△4.2%	0.7%	3.7%	+0.4

※ATV: 四輪バギー

# 地域別売上高(二輪車・マリン・特機)【2010年実績:4Q(3ヶ月)】



## 二輪車 販売台数 (千台)

	09年実績	10年実績	09年比
日本	22	22	+2.9%
北米	11	13	+16.7
欧州	50	40	△19.3
アジア	1,476	1,597	+8.2
その他	99	163	+64.3
合計	1,658	1,836	+10.7

## マリン 売上高 (億円)

	09年実績	10年実績	09年比
日本	58	55	△5.2%
北米	101	105	+4.1
欧州	55	51	△8.6
アジア	18	27	+49.4
その他	88	98	+10.7
合計	321	336	+4.6

## 二輪車 売上高 (億円)

	09年実績	10年実績	09年比
日本	79	77	△2.6%
北米	56	67	+20.6
欧州	259	191	△26.3
アジア	1,415	1,519	+7.3
その他	284	323	+13.7
合計	2,092	2,176	+4.0

## 特機 売上高 (億円)

	09年実績	10年実績	09年比
日本	21	25	+22.7%
北米	157	132	△16.4
欧州	60	70	+15.5
アジア	10	15	+43.2
その他	41	38	△8.5
合計	290	279	△3.7

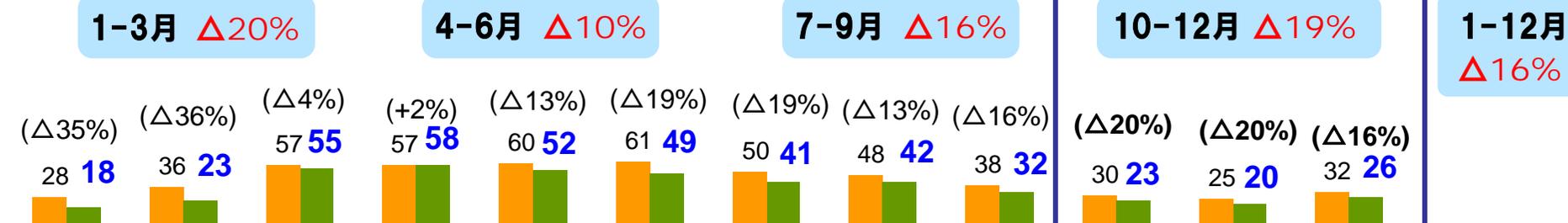
# 米国主要商品 月別総需要推移【2010年実績】



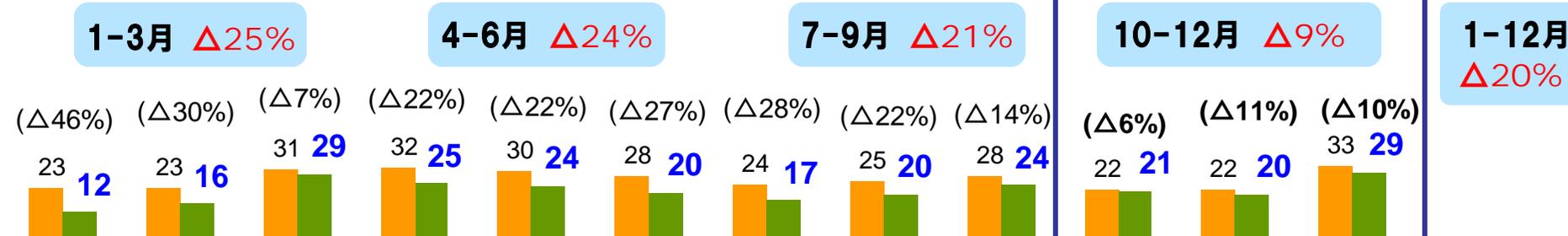
09年 10年

(千台)

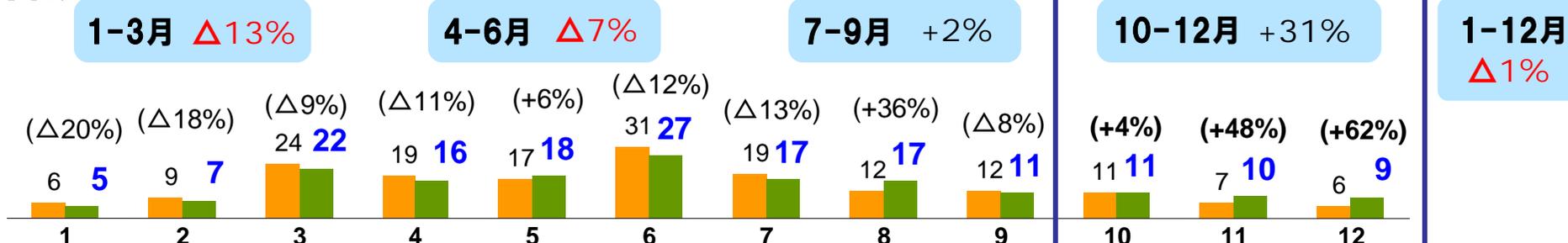
## 二輪車



## ATV



## 船外機



※ATV:四輪バギー 出所) 二輪車・ATV:MIC、船外機:NMMA

# 米国主要商品 小売・卸状況【2010年実績】



(億円)

## 小売台数 (千台)

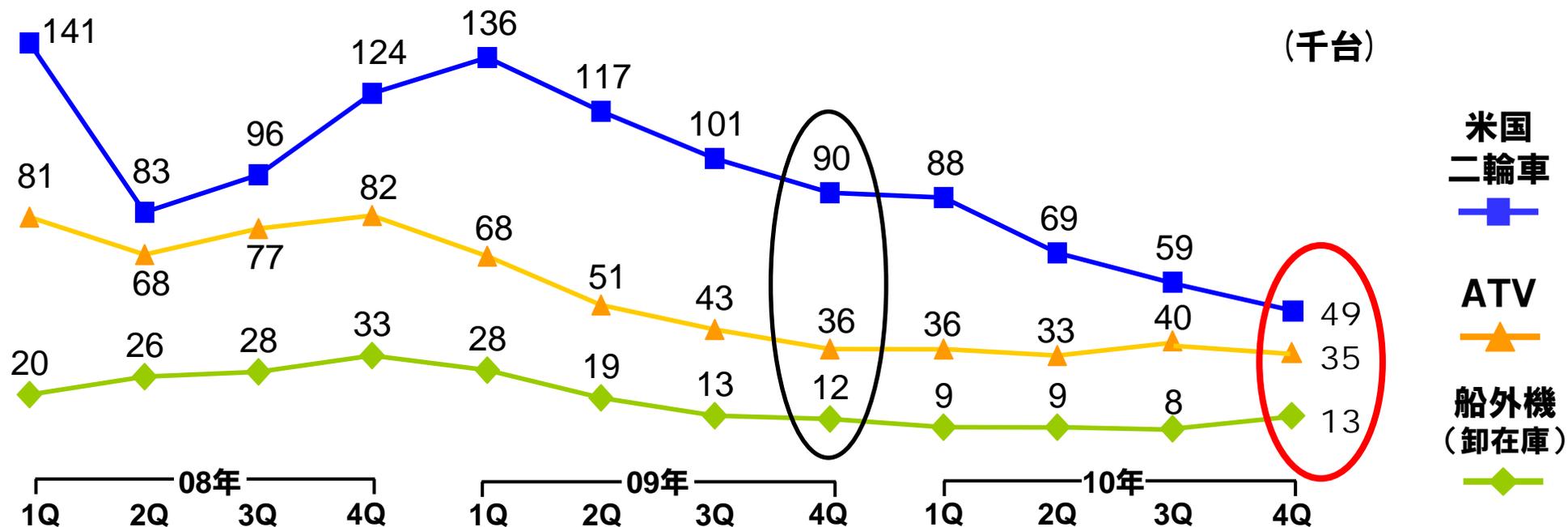
	2009年実績		2010年実績		2009年比	
	4Q	年間	4Q	年間	4Q	年間
二輪車	14	90	13	73	△5%	△19%
ATV	13	63	14	48	+5	△24
船外機	10	62	16	65	+69	+5

## 卸台数 (千台)

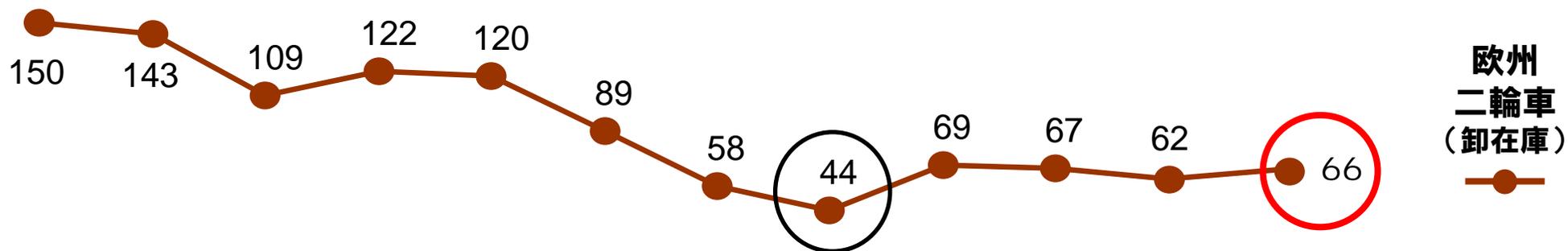
	2009年実績		2010年実績		2009年比	
	4Q	年間	4Q	年間	4Q	年間
二輪車	10	79	11	42	+19%	△48%
ATV	11	33	11	39	+3	+19
船外機	9	42	11	56	+21	+33

※ATV:四輪バギー

## 米国主要商品



## 欧州二輪車



※ATV: 四輪バギー

# IM売上高・売上台数【2010年実績・11年予想】



## マウンター 販売台数 (台)

	09年実績	10年実績	09年比
1Q	125	325	160.0%
2Q	210	620	195.2
3Q	300	710	136.7
4Q	325	505	55.4
年間計	960	2,160	125.0

11年予想	前期比
2,300	+6.5%

## IM 売上高 (億円)

	09年実績	10年実績	09年比
1Q	28	58	112.1%
2Q	30	93	210.1
3Q	45	96	115.0
4Q	49	81	67.2
年間計	151	329	118.0

11年予想	前期比
340	+3.2%

※ IM:産業用ロボット(表面実装機含む) 注) マウンター売上台数には、周辺機器(印刷機など)含む

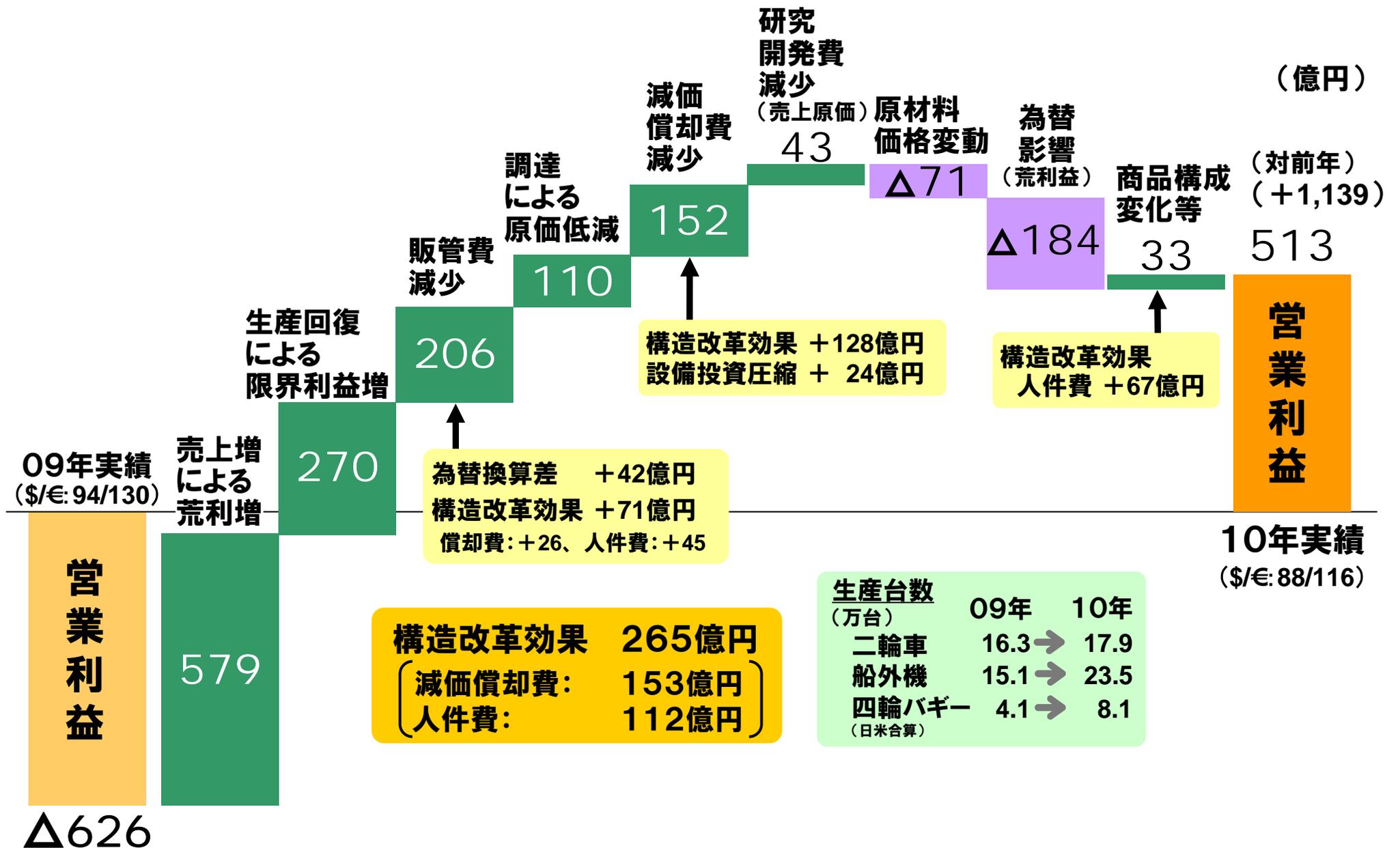
# 為替影響（対前年）【2010年実績・11年予想】



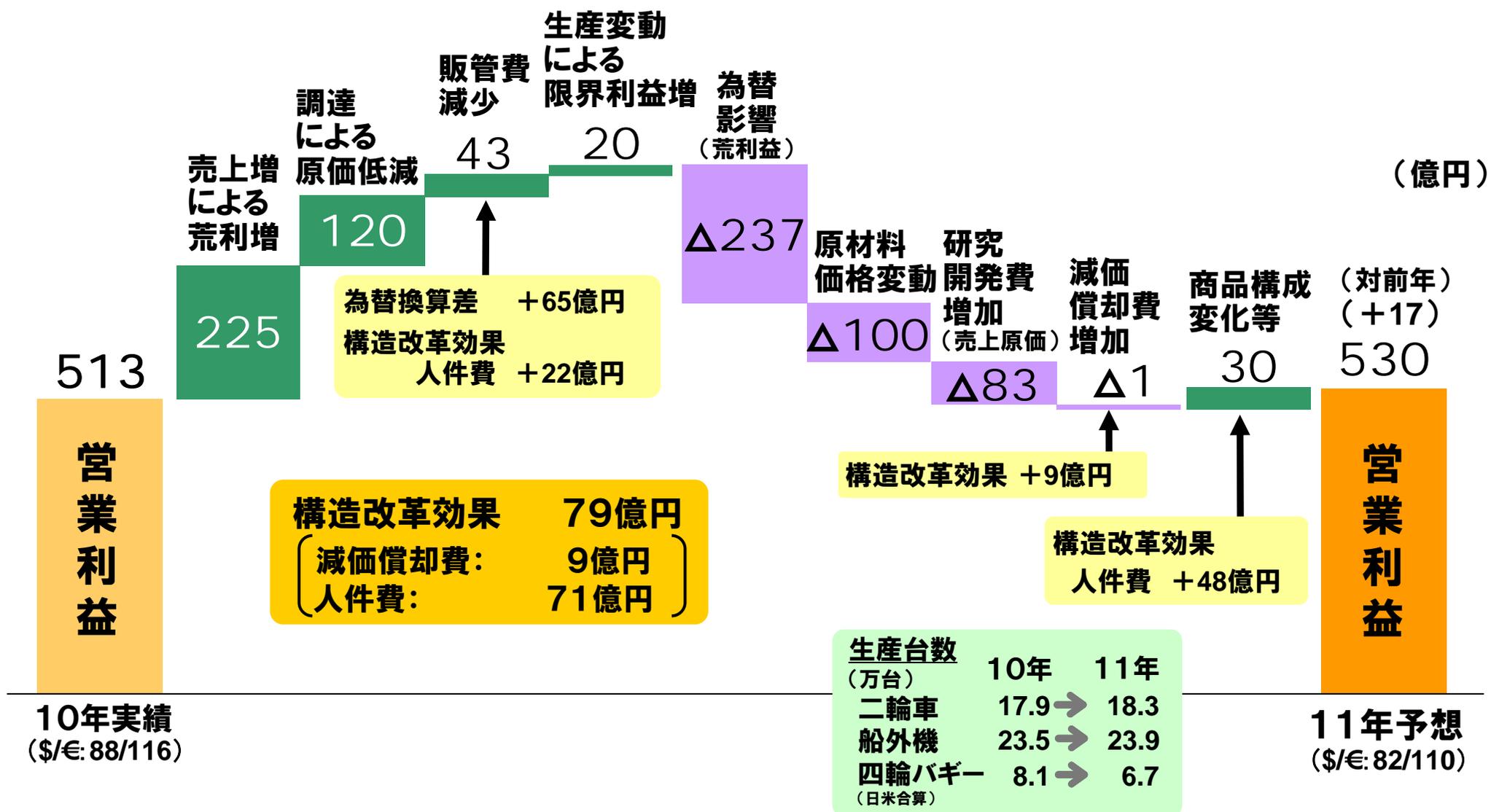
(億円)	2010年(4Q)実績				2010年(年間)実績				2011年(年間)予想			
	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計
<b>売上レート</b>												
①売上レート差異(荒利益)	△31	△25	△1	△56	△109	△77	8	△179	△103	△40	△4	△147
※売上・買取レート差異(営業外)	9	14	△1	22	38	87	10	135	△25	△18	△2	△45
<b>実質影響額(買取レート)</b>	<b>△22</b>	<b>△11</b>	<b>△1</b>	<b>△34</b>	<b>△71</b>	<b>10</b>	<b>18</b>	<b>△43</b>	<b>△129</b>	<b>△58</b>	<b>△6</b>	<b>△192</b>
<b>PL換算レート</b>												
09年実績レート(円)	90	133			94	130						
10年実績レート(円)	83	112			88	116			88	116		
11年予想レート(円)									82	110		
②PL換算レート差異(荒利益)	△1	△9	△16	△26	△7	△36	38	△6	△14	△16	△59	△90
<b>①+②荒利益への影響額合計</b>	<b>△32</b>	<b>△34</b>	<b>△16</b>	<b>△82</b>	<b>△117</b>	<b>△113</b>	<b>46</b>	<b>△184</b>	<b>△117</b>	<b>△56</b>	<b>△63</b>	<b>△237</b>
販管費の換算影響				30				42				65
営業利益への影響額				△52				△142				△172
経常利益影響額				△30				△7				△218
<b>1円の変動が与える影響額</b>	<b>US\$ 4億円</b> <b>EURO 1億円</b>				<b>US\$ 18億円</b> <b>EURO 6億円</b>				<b>US\$ 18億円</b> <b>EURO 6億円</b>			

注) ①外貨建売上計上レートの前期差異による荒利益に与える影響額  
 ②外貨建個別財務諸表を連結する時の円換算レートの前期差異による荒利益に与える影響額  
 ※買取レートの前期差異による営業外に与える影響額

# 営業利益変化要因（対前年）【2010年実績】



# 営業利益変化要因（対前年）【2011年予想】



## 設備投資・減価償却費

(億円)

	09年実績	10年実績	11年予想
設備投資	460	339	520
減価償却費	537	366	380

## 有利子負債

(億円)

	09年実績	10年実績
ヤマハ発動機	2,153	1,943
米国	968	611
欧州	129	394
その他	749	276
GROSS 有利子負債	3,999	3,224
(うち販売金融分)	(1,336)	(1,142)
NET 有利子負債	2,626	1,171

# 主要商品別 総需要・当社出荷台数【2010年実績・11年予想】



台数単位:千台(表面実装機のみ:台)

	総需要(当社推定)		
	09年実績	10年実績	11年予想
日本	434	424	369
北米	585	497	494
欧州	2,116	2,040	1,987
インドネシア	5,692	7,236	8,100
タイ	1,536	1,846	1,950
インド	8,638	11,270	13,000
ベトナム	2,745	3,070	3,260
台湾	601	526	640
中国	17,420	16,090	14,240
その他	2,809	3,417	3,399
アジア計	39,440	43,455	44,589
ブラジル	1,602	1,801	1,850
その他	5,206	5,978	6,074
その他計	6,809	7,779	7,924
二輪車計	49,384	54,195	55,363
船外機	623	670	675
ATV	604	522	515
電動アシスト自転車(日本)	365	384	410
表面実装機(台)	5,750	14,100	15,100

	ヤマハ発動機 出荷台数			
	08年実績	09年実績	10年実績	11年予想
日本	122	108	99	88
北米	167	92	53	69
欧州	366	275	227	218
インドネシア	2,466	2,651	3,326	3,650
タイ	454	432	506	550
インド	136	219	259	310
ベトナム	479	643	776	903
台湾	277	146	173	206
中国	572	608	700	850
その他	332	295	343	372
アジア計	4,717	4,993	6,084	6,841
ブラジル	250	193	227	262
その他	243	179	271	283
その他計	493	372	497	545
二輪車計	5,865	5,841	6,960	7,760
船外機	334	240	272	283
ATV	170	82	81	82
PAS(完成車)	68	80	93	107
表面実装機(台)	1,775	960	2,160	2,300

(注) ATV:四輪バギー、PAS:電動アシスト自転車  
 当社の表面実装機販売台数には、周辺機器(印刷機など)を含む

# ヤマハ発動機 単独業績(1)



## 売上・利益明細 (億円)

	08年実績	09年実績	10年実績
売上高	7,402	4,018	4,701
営業利益	△241	△553	△87
経常利益	208	△613	437
当期純利益	△30	△1,584	361

## 商品別売上高 (億円)

	08年実績	09年実績	10年実績
二輪車	3,237	2,010	1,986
マリン	1,759	946	1,311
特機	1,387	399	518
自動車エンジン	391	241	312
IM	275	141	311
その他	353	282	263
<b>合計</b>	<b>7,402</b>	<b>4,018</b>	<b>4,701</b>

IM:産業用ロボット(表面実装機含む)

## 国内・輸出売上高 (億円)

	08年実績	09年実績	10年実績
日本	1,285	972	1,038
北米	2,428	858	991
欧州	1,628	836	1,058
アジア	821	630	821
中南米	640	380	430
その他	599	343	362
<b>合計</b>	<b>7,402</b>	<b>4,018</b>	<b>4,701</b>
<b>輸出比率</b>	<b>82.6%</b>	<b>75.8%</b>	<b>77.9%</b>

## 二輪車売上高明細 (億円)

	08年実績	09年実績	10年実績
日本完成車	211	223	148
日本部品	82	77	77
輸出完成車	2,312	1,196	1,191
KDセット	489	400	439
輸出部品	142	114	130
<b>合計</b>	<b>3,237</b>	<b>2,010</b>	<b>1,986</b>

KDセット:現地組立用部品

# ヤマハ発動機 単独業績(2)



## 二輪車 排気量別出荷台数 (千台)

	08年実績	09年実績	10年実績
原付1種	71	81	63
原付2種	21	20	11
軽二輪	12	11	10
自動二輪	11	8	3
<b>合計</b>	<b>115</b>	<b>120</b>	<b>87</b>

## 二輪車 地域別出荷台数 (千台)

	08年実績	09年実績	10年実績
北米	173	66	36
中南米	89	36	81
欧州	172	88	119
アジア	18	11	10
その他	62	40	50
<b>合計</b>	<b>513</b>	<b>241</b>	<b>296</b>

## 二輪車KDセット 地域別出荷台数 (千台)

	08年実績	09年実績	10年実績
中南米	372	196	271
欧州	183	96	135
アジア	4,376	4,014	5,476
<b>合計</b>	<b>4,931</b>	<b>4,305</b>	<b>5,882</b>

KDセット:現地組立用部品

## マリン 商品別売上高 (億円)

	08年実績	09年実績	10年実績
船外機	1,090	489	858
舟艇	80	45	62
ウォーター ビークル	361	218	187
プール	42	40	43
その他マリン	186	153	161
<b>合計</b>	<b>1,759</b>	<b>946</b>	<b>1,311</b>

ウォータービークル:水上オートバイ

## 特機 商品別売上高 (億円)

	08年実績	09年実績	10年実績
ATV	1,008	240	362
スノーモビル	199	104	134
ゴルフカー	112	0	0
その他特機	69	55	23
<b>合計</b>	<b>1,387</b>	<b>399</b>	<b>518</b>

ATV:四輪バギー

## 【ご案内】

当社ウェブサイトのIR情報も是非ご覧下さい。

**ヤマハ発動機ウェブサイト**     <http://www.yamaha-motor.co.jp>

**ヤマハ発動機ウェブサイト**     <http://www.yamaha-motor.co.jp/global/>  
(英語版)

**IR情報**     <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/>

決算説明会資料     <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/explanation/>  
ファクトブックやアニュアルレポート     <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/material/>  
個人投資家向け情報     <http://www.yamaha-motor.co.jp/profile/ir/individual/>

IR情報 英語版     <http://www.yamaha-motor.co.jp/global/ir/>